

アルスの会タウンミーティング@東京  
091128 東大理物理  
「学術:過去の総括と未来への期待」

学術文化を護る体制の変遷と変容  
「21世紀学術行政の現状と在り方」  
コメント

伏見 譲

埼玉大学総合研究機構

アルスの会タウンミーティング@東京  
091128 東大理物理  
「学術:過去の総括と未来への期待」

# 学術文化を護る体制の変遷と変容 「21世紀学術行政の現状と在り方」 コメント

伏見 譲

埼玉大学総合研究機構

JST先端計測技術推進部開発総括

都市エリア産学官連携促進事業

「埼玉・圏央エリア」研究統括

# 最近の日本の研究戦略

## 科学技術基本計画

- 科学技術基本法 1995
- 第1期科学技術基本計画 1996-2000
- 第2期科学技術基本計画 2001-2005
- 第3期科学技術基本計画 2006-2010

# 理念1：人類の英知を生む

～知の創造と活用により世界に貢献できる国の実現に向けて～

- **目標1 飛躍知の発見・発明**

- 未来を切り拓く多様な知識の蓄積・創造
- 新しい原理・現象の発見・解明
- 非連続な技術革新の源泉となる知識の創造

- **目標2 科学技術の限界突破**

- 人類の夢への挑戦と実現
- 世界水準プロジェクトによる科学技術の牽引

# 理念2： 国力の源泉を創る

～国際競争力があり持続的発展ができる国の実現に向けて～

## • 目標3 環境と経済の両立

- 環境と経済を両立し持続可能な発展を実現
  - 地球温暖化・エネルギー問題の克服
  - 環境と調和する循環型社会の実現

## • 目標4 イノベーター日本

- 革新を続ける強靱な経済・産業を実現
  - 世界を魅了するユビキタス社会の実現
  - ものづくりナンバーワン国家の実現
  - 科学技術により世界を勝ち抜く産業競争力の強化

# 理念3：健康と安全を守る

～安心・安全で質の高い生活のできる国の実現に向けて～

- **目標5 生涯はつらつ生活**

- 子供から高齢者まで健康な日本を実現
  - － 国民を悩ます病の克服
  - － 誰もが元気に暮らせる社会の実現

- **目標6 安全が誇りとなる国**

- 世界一安全な国・日本を実現
  - － 国土と社会の安全確保
  - － 暮らしの安全確保

# 理念と目標を実現するために

- **創造的人材の育成**    **モノから人へ**
  - 個々の人材が有する意欲・創造力を最大限に発揮させる
    - 潜在力の育成と発掘
    - 硬直性の打破。多様性の確保
    - 創造性・挑戦意欲の奨励
- **競争的環境の醸成**    **機関における個人の重視**
  - 非連続的な革新や創造的破壊の尊重のために
    - 創造的発想が解き放たれ、オープンに評価を受ける機会
    - 発想の創造性をめぐる公正な競争
  - 卓越した研究は個人の努力と優れた個人同士の相互作用による
    - 研究機関は個人の活動の基盤を担うもの
    - 創造的研究は組織が行うものではなく個人が行うもの

# 政府による研究推進の分類

		イニシアティブ	
		政府による主導 2.3兆円 <b>mission-oriented</b>	研究者の自由な発想 1.4兆円 <b>curiosity-driven</b>
研究内容 研究者組織	あらかじめ設定	政府主導の国家プロジェクト 2兆円	大学共同利用機関などにおける特定目的の研究
	競争的資金	各省が定める目的のための公募型研究 2792億円	<b>科研費による研究</b> 1880億円
	研究者の自由	-----	<b>基盤的経費による研究</b>



# 「現実」の問題点

- 理念2の優先
  - プロジェクト研究の重視と成果主義に基づく評価
  - 産学官連携と知財重視:「学」の「産」化
- 評価・評価・評価
  - 教員・研究者の負担増(JABEE、競争的資金、能力給)
  - 審査委員の能力不足:事業仕分けに似る(多忙、誤解、)
  - 審査委員会運営法:コンセンサスを得る研究は陳腐なもの
- 国立大学独法化＋運営費交付金削減
  - 基盤研究費の枯渇
  - 外部資金獲得の要請→拝金主義研究、評価軸の変化
  - 知財重視:公開原則の軽視

# 「現実」の問題点(続)

- 個人の相対的軽視とプロジェクトの重視
  - 基盤的経費の極度の貧困
  - 競争が発想の創造性をめぐるものになっているか
  - セレンディピティを軽視
- 次世代の育成ができているのか
  - ポスドク制の失敗
  - JABEEで学生の自主性、創造性が涵養できるか
  - 高校物理の凋落
  - 理科教育の科学？

# 知財重視とその問題点

科学技術は特許法、芸術は著作権法で知財保護  
– 産業革命で生まれた「有体物」から出発、「情報」へ展開

- 論文と特許の相克（公開性の軽視）
  - 米国のプロパテント政策、NCBI
  - 特許制度改革の要請
- 医療業に特許を導入すべきかetc
  - 1885年、専売特許条例発布、医薬は特許の対象外
  - 1976年、医薬特許制度導入
  - 2002年、医療行為を特許法で保護することを再考すべしという判例
  - 2002年、蛋白質立体構造情報は特許対象外と決定

# 純粹と応用、基礎と末梢

- 上田良二「雑文抄」
- 科学者の自由な発想に基づく研究？
  - 「面白いから研究する」の問題点
- 分子生物学建設者グループのスローガン：  
「大腸菌で正しいことはゾウでも正しい。」